

(単位：千円)

事業名	母子会・父子会補助事業						事業コード	030201430325			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322			
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課				所属長	由里 典栄				
会計情報	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	129	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、福知山市母子寡婦福祉会及び福知山市父子福祉会活動補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 母子寡婦福祉会の活動に対し活動補助金を交付しているが、会の会員数の減少や役員の高齢化、若い会員が役員になりたがらないなど、会の活動回数も減少している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 母子寡婦福祉会、父子福祉会ともに会員減少により会の存続が困難になりつつある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市母子寡婦福祉会及び福知山市父子福祉会の活動を支援し、母子家庭及び父子家庭の福祉の向上と地域全体で子育てを支える機運の醸成を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 母子寡婦福祉会、父子福祉会が福祉の向上や交流促進を目的として実施する事業に対し、補助金を交付する。					
対象者	母子寡婦福祉会、父子福祉会会員		対象者数	28	単位あたりコスト	25.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	-					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	負担金補助及び交付金	150	母子寡婦福祉会事業補助金			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	263		254		251		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①～③)		263		254		251		0	
予算財源内訳	① 一般財源	263		254		251		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
	⑥ 繰越金	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	1		△ 104					
	② 配当予算	264		150					
	③ 執行額	151		150					
	④ 執行率	57.2%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	/	
	② 概算人件費	560		560					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		711		710					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	53	65	30			
		目標値		51	53	65	70	75	
		会が実施する事業への参加人数	達成度	%	104%	123%	46%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	5	5	5			
	母子寡婦福祉会の事業を行った回数。	当初見込		6	5	5	5	5	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
母子福祉会・父子福祉会の活動に対し活動補助金を交付する。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ 必要性、効率性、有効性の観点 を基に記述すること 孤立しがちな母子家庭、父子家庭のつながりや情報共有の場である、母子寡婦福祉会、父子福祉会の活動を支援することは、会が事業を実施していくうえで意義がある。【定性的評価】 母子寡婦福祉会の活動は継続しているが、父子福祉会の活動は新型コロナウイルス感染拡大予防の影響で令和2年度以降中断しており、父子家庭間での交流ができない事は父子家庭の子育てを支えあう機運の醸成を図るうえで課題である。【課題】									
現状の課題 に対する 改善策	会員を増やすため、こども福祉課の窓口に、会が作成したチラシを置いて周知している。									

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業										事業コード	030201430353				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課						所属長	由里 典栄							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	129・130		頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	子ども・子育て支援事業計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	子ども・子育て関連3法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートし、平成27年3月に「第1期福知山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、こどもを中心に、多様な世代や地域が関わり合い、こどもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支えるまちづくりを目指している。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 人口減少や出生率の低下により急速に少子高齢社会が進行しており、社会経済全体に大きな影響を与えている。さらに、児童虐待相談件数の増加や子どもの貧困、不登校件数の増加、ヤングケアラー問題など、子どもを取り巻く環境も年々変化しており新たな支援が急務となっている。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) こどもを安心して生み育てられる環境と、子ども一人ひとり幸せと健やかな育ちが最大限に保障される社会を実現する。 「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育、保育、子育てに関する事業を円滑に実施する。 令和7年度からスタートする「第3期子ども・子育て支援計画」の策定を行う。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗管理 ・第3期子ども・子育て支援事業計画の策定 ・計画策定に係る業務委託 ・上記に係る子ども・子育てで会議の開催(4回)、及び審議										
対象者	子ども・子育て会議委員					対象者数	12		単位あたりコスト	792.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	256		5,386		992		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		256		5,386		992		0				
予算財源内訳	① 一般財源	256		5,386		684		0				
	② 国支出金	0		0		308		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	1,049		954								
	② 配当予算	1,305		6,340								
	③ 執行額	1,249		6,315								
	④ 執行率	95.7%		99.6%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.40	/	0.00	0.40	/	0.00	/				
	② 概算人件費	3,200		3,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,449		9,515								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	2	4			
	子ども・子育て会議実施回数	当初見込	1	2	4	4	2		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	子ども・子育て支援事業計画の策定に係る会議の開催								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	第3期計画策定に係る関係機関や団体等にヒアリングを実施し計画に反映できた。 こども子育て会議を4回開催し、計画の進捗管理や第3期計画の策定に係る審議を行い計画が策定できた。 中学・高校生、大学生及び若者の意見を聞き取り施策に生かすことが今後の課題である。【課題】	
現状の課題 に対する 改善策	児童虐待相談件数の増加や子どもの貧困問題、不登校件数の増加、ヤングケアラー問題など、こどもを取り巻く環境も年々変化しており新たな支援が必要。 こども子育て会議で審議のうえ、対策を進めていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	児童扶養手当事業										事業コード	030202430313				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所 属	170100 こども家庭部こども福祉課						所属長	由里 典栄							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	02 児童措置費		会計	01 一般会計		決算附属資料	132		頁
計画期間	開始年度	昭和36年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	児童扶養手当法、福知山市児童扶養手当の支給に関する規則															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	福祉医療費(ひとり親)支給事業															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ひとり親世帯は経済的に困難な家庭も多く生活の安定と子どもの成長を図るために経済的支援が必要である。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ひとり親世帯であることや受給者及び扶養義務者の収入把握が難しい。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ひとり親家庭等の児童の心身が健やかに成長するため、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○ひとり親家庭等において、児童(年度末18歳到達まで)を養育している人に所得に応じて支給する。(所得制限額あり) 子1人目 月額10,740円～45,500円 子2人目 月額5,380円～10,750円加算 子3人目以降 月額3,230円～6,450円加算 ・令和6年11月認定分から、子3人目以降を子2人目と同額とし、所得制限限度額を引上げ。										
対象者	児童扶養手当受給者					対象者数	736		単位あたりコスト	394.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	320,933		308,642		296,919		0						
	② 補正予算	△ 34,740		△ 20,855		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		286,193		287,787		296,919		0						
予算財源内訳	① 一般財源	191,004		192,080		197,914		0						
	② 国支出金	95,189		95,707		99,005		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 37		0										
	② 配当予算	286,157		287,787										
	③ 執行額	282,994		287,223										
	④ 執行率	98.9%		99.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.08	/	0.95	0.08	/	0.95			/				
	② 概算人件費	3,300		3,300										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		286,294		290,523										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	児童扶養手当給付費		種類	民生費国庫負担金		実績金額	95,254		決算附属資料	14		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	668	725	627			
		目標値		757	744	736	708	680	
	現況届提出期間に届け出をした人数		達成度	%	88%	97%	85%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3			
		当初見込		3	3	3	3	3	
	現況届未提出者への督促								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	2年続けて現況届未提出者へ提出の督促と提出がなされなければ喪失となる案内をしている。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・児童扶養手当法に基づき手当を支給した。 ・児童扶養手当の給付により、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進することができている。 ・ひとり親世帯であることや受給者及び扶養義務者の収入把握が難しい。	
現状の課題 に対する 改善策	・児童扶養手当法に基づき、適正に事業を実施する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	児童手当事業								事業コード	030202430504				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成						施策コード	322					
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	由里 典栄						
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	02 児童措置費		会計	01 一般会計	決算附属資料	132	頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	児童手当法													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)													
関連事業	-													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 子育て家庭等における生活の安定に寄与する とともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 公務員への児童手当の支給は職場からなっており、担当課での把握が困難。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 児童を養育する人に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 0歳から中学3年終了前までの子どもを養育している家庭に手当てを支給する。 (児童手当) ・0歳から3歳未満 月額15,000円 ・3歳から小学校修了まで(第1子、第2子)月額10,000円、(第3子以降)月額15,000円、・中学校 月額10,000円 (特例給付)1人につき月額5,000円、令和6年10月認定分から高校卒業まで支給年齢拡充及び第3子加算額を月額30,000円に増額、併せて所得制限を撤廃。				
対象者	中学卒業までの児童	対象者数	9,933	単位あたりコスト	124.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,201,745		1,278,706		1,478,467		0					
	② 補正予算	△ 84,900		△ 39,755		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,116,845		1,238,951		1,478,467		0					
予算財源内訳	① 一般財源	169,381		157,812		237,641		0					
	② 国支出金	778,280		924,457		1,004,704		0					
	③ 府支出金	169,160		156,658		236,098		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	24		24		24		0					
決算情報	① 流充用額	△ 798		△ 5,464									
	② 配当予算	1,116,047		1,233,487									
	③ 執行額	1,081,799		1,229,312									
	④ 執行率	96.9%		99.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.92	/	0.35	0.92	/	0.35	/					
	② 概算人件費	8,340		8,340									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,090,139		1,237,652									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	児童手当負担金		種類	民生費国庫負担金		実績金額	912,907		決算附属資料	14	頁
			児童手当負担金			民生費府負担金			155,434			21	
			児童手当支払証明手数料			民生手数料			4			12	
			児童手当事業(子ども・子育て支援事業費補助金)			民生費国庫補助金			3,813			16	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	103677	100685	109348			
		目標値		110388	109236	108060	110520	108309	
	児童手当支給延人数		達成度	%	94%	92%	101%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2			
	広報ふくちやま、市ホームページを活用しての周知回数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童手当の支給(年4回)								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 児童手当法に基づき手当を支給することにより、子育て世帯の生活の安定と、子どもの健やかな成長に資することができた。 国庫負担金、府負担金を活用し、手当の支給を円滑に行うことができています。 今後も、手当の支給が通常期払から遅れることがないよう諸届、申請の適切な提出を促す。	
現状の課題 に対する 改善策	市のホームページや広報誌などにより諸届、申請の適切な提出を促す。 また、児童手当の諸手続きについて、電子申請(びったりサービス)の利用を促す。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	児童館運営事業(地域交流・子育て支援・人材育成)										事業コード	030203430205				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課							所属長	由里 典栄						
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	03 児童福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	134		頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	児童福祉法、児童館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 すべての人が基本的人権を生まれながらにして持っていて、かけがえない個人として尊重されるという認識のもと、同和問題(部落差別)や女性、こども、高齢者、障害のある人、外国籍の人などに対する差別など一切の差別を許さず無くしていく意欲と実践力を持った人材の育成を図る。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、利用者数の増加は見込みにくく、学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、こどもたちの人材育成を図っていくことが困難となっている。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域交流・子育て支援・人材育成を目的とした各種事業を通じて、こども同士、こどもと地域住民等との交流を深め、地域のつながりを強化する。こどもが安心できる居場所を確保し、こどもと保護者に寄り添う子育て支援を行う。人権学習等を通じて差別を許さない人材を育成する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 児童館活動の柱である大きな3つの事業を実施する。 (1)人材育成:差別を許さず見逃さない意欲と実践力を持った人材の育成 (2)子育て支援:子どもが安心できる居場所、子育て支援の推進 (3)地域交流:児童館まつり・文化祭・やんちゃフェスタ等を通じ、子ども同士・地域住民等との交流を深め、人権文化の定着を図るとともに社会参加活動を推進する。										
対象者	市内の乳幼児から中学生まで					対象者数	9,933		単位あたりコスト	7.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,241		5,767		5,745		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		5,241		5,767		5,745		0				
予算財源内訳	① 一般財源	3,577		4,015		4,139		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	1,571		1,659		1,513		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	93		93		93		0				
決算情報	① 流充用額	△ 615		△ 620								
	② 配当予算	4,626		5,147								
	③ 執行額	4,041		5,108								
	④ 執行率	87.4%		99.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	3.80	/	15.40	3.80	/	15.40			/		
	② 概算人件費	73,520		73,520								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		77,561		78,628								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	人権問題啓発事業(児童館)		種類	民生費府補助金		実績金額	20	決算附属資料	23	頁
			地域交流活性化支援事業(児童館)			民生費府補助金			1,657		23	
			文化祭模擬店負担金(児童館)			雑入			80		46	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	12	12	12			
	児童館だよりの発行	目標値		12	12	12	12	12	
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42549	51006	49423			
	延べ施設利用者数	当初見込		31120	42549	51006	49423	51000	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童館だよりの発行により事業や教室の案内。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	人権学習などの各実施事業を(人材育成事業)(子育て支援事業)(地域交流事業)の3事業に位置づけし実施した。(定性的評価) 児童館の利用をすすめ、子どもたちの居場所となるような事業実施、運営につとめることができた。 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、利用者数の増加は見込みにくく、学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、子どもたちの人材育成の評価を定量的に行う事が困難である。								
現状の課題 に対する 改善策	事業参加や施設利用者数が減少しているので、事業に参加しやすいように事業内容や実施方法、回数の見直し・統合等の検討する。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	児童館管理経費事業										事業コード	030203730107				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課						所属長	由里 典栄							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	03 児童福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	135・136		頁
計画期間	開始年度	昭和55年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	児童福祉法、児童館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 児童館の管理運営に係る経費										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設が老朽化しているため安全に使えるよう施設の維持管理に努める										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 児童館が児童厚生施設としての機能を維持し、児童が安心して遊び、学べる場所を確保する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 児童館施設の機能確保のため、会計年度任用職員の雇用、電気・通信・上下水道の維持のほか施設小修繕や機械警備業務・消防設備点検業務の費用を支出する。										
対象者	市内の乳幼児から中学生まで					対象者数	9,933		単位あたりコスト	6.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	12,946		11,663		11,202		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		12,946		11,663		11,202		0						
予算財源内訳	① 一般財源	11,378		10,545		10,084		0						
	② 国支出金	450		0		0		0						
	③ 府支出金	980		980		980		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	138		138		138		0						
決算情報	① 流充用額	615		2,296										
	② 配当予算	13,561		13,959										
	③ 執行額	12,289		13,959										
	④ 執行率	90.6%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.22	/	10.60	2.22	/	10.60	/						
	② 概算人件費	47,440		47,440										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		59,729		61,399										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	隣保館運営費等(児童館)		種類	民生費府補助金		実績金額	980		決算附属資料	23		頁
			電柱占用料(児童館)			民生使用料			19			8		
			その他使用料(児童館)			民生使用料			1			8		
			南有路児童館光熱水費			雑入			104			43		
			南佳屋野児童館コピー代			雑入			17			46		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	12	12	12			
	児童館だよりの発行	目標値		12	12	12	12	12	
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42549	51006	49423			
	延べ施設利用者数	当初見込		31120	42549	51006	49423	51000	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	児童館だよりの発行により事業や教室の案内。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	人権学習などの各実施事業を(人材育成事業)(子育て支援事業)(地域交流事業)の3事業に位置づけし実施した。(定性的評価) 児童館の利用をすすめ、子どもたちの居場所となるような事業実施、運営につとめることができた。 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、利用者数の増加は見込みにくく、学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、子どもたちの人材育成の評価を定量的に行う事が困難である。								
現状の課題 に対する 改善策	事業参加や施設利用者数が減少しているので、事業に参加しやすいように事業内容や実施方法、回数の見直し・統合等の検討する。								

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

~~13~~

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42549	51006	49092			
	延施設利用人数	当初見込		31120	42549	51006	49092	51000	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
児童館施設の維持管理に努める。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	児童館の安全で快適な施設管理を維持し、安心して遊び、学ぶことの出来る場所を確保するとともに、健全な児童育成を図ることができた。施設の維持管理に必要な経費に関する事業であり、利用者に不便が生じないよう、適切かつ効率的な予算執行により、健全育成を図ることができた。施設の維持管理を行っている。【定性的評価】
現状の課題 に対する 改善策	老朽化による施設機能の低下が著しいため計画的に施設改修を実施することにより施設利用者の増加を図る。 本事業における活動実績、成果実績の定量的な把握は困難である。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	出産・子育て応援事業										事業コード	030201202302				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち							政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課							所属長	荒賀 正之						
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	127		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	出産・子育て応援事業交付金実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、子育て家庭が孤立しやすい状況になっている。また、各家庭で、仕事と子育ての両立に対する負担感が増している。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 妊娠期から、産後、子育て期といつでも安心して相談できる窓口として認識してもらう必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することで、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・妊婦や出産に寄り添った伴走型支援(面談3回) ①妊娠届出時の面談、②出産前(妊娠6か月頃)のアンケート及び面談(希望制)、③出生後(3か月頃)の面談 ・妊娠届出時及び、出生後の面談を実施後、各5万円の支給									
対象者	妊婦及び産婦				対象者数	510		単位あたりコスト	114.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	31,892		57,328		53,211		0					
	② 補正予算	0		1,326		0		0					
	③ 繰越予算	109,243		△ 1,326		0		0					
	前年度繰越	109,243		0		0							
	次年度繰越	0		△ 1,326		0		0					
小計(①～③)		141,135		57,328		53,211		0					
予算財源内訳	① 一般財源	22,314		9,589		1,397		0					
	② 国支出金	0		0		45,099		0					
	③ 府支出金	118,821		47,739		6,715		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 188		△ 43									
	② 配当予算	140,947		57,285									
	③ 執行額	99,221		53,598									
	④ 執行率	70.4%		93.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.42	/	0.65	0.36	/	0.60	/					
	② 概算人件費	5,180		4,560									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		104,401		58,158									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	出産・子育て応援交付金		種類	民生費府補助金		実績金額	46,220		決算附属資料	23		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	87.9	89.2	88.9			
		目標値		90	90	90	90	90	
	産後十分なケアを受けたと感じる産婦の割合		達成度	%	98%	99%	99%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100			
	出産前における伴走型相談支援実施率			100	100	100	100	100	
		当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・出産前(妊娠6か月頃)のアンケート及び面談(希望制)								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・伴走型相談支援においては、妊娠期からの経過を追いながら、妊婦からの連絡がなかった際にもこちらからアプローチするなどし、妊婦と子育て相談総合窓口が機会を得ながらつながりの中で支援することができた。 ・妊娠から出産までの家庭で流産、死産された場合の対応(グリーフケア)のスキルアップが必要である。
現状の課題に対する改善策	・研修への参加及びその内容を共有する中で、グリーフケア等の対応スキルを蓄積させていく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	子育て応援まちづくり事業										事業コード	030201430360				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課						所属長	荒賀 正之							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	130		頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	子ども・子育て支援法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯や転入者や共働き世帯の増加などにより、地域内でのつながりが希薄になる中で、子育て家庭が孤立しやすく、仕事と子育ての両立に対する負担感がある。一方で妊娠・出産・育児など子育てに関する情報は、WebやSNS上に溢れており容易に収集できる。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 子育て世代がつながるためにも、子育て世代が自然と集うような場所や機会を設ける必要がある。三段池公園内の子育て世代の利用施設が多いという利点を生かして、交流を促していく必要がある。また、子育て世代から要望の多い雨天時に過ごすことができる場所としての機能を充実させる必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 子育て中の悩みや不安について相談したり、同じ立場の人と共有できるよう、子育て世帯が集う場や機会を設けることで、不安などを解消するとともに、子育て家庭の孤立及び児童虐待の防止を図る。また、子育て世代の利用が多い施設が集合した三段池公園の特性を生かした事業や、既存施設の機能の強化を実施することで、三段池公園を中心とした子育てのまちづくりを進める。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・三段池公園総合体育館内の子育て支援拠点「りとのハピネス」において、子育て世代が集い、交流できる場の提供 ・「りとのハピネス」において、講座・イベントや子育てコンシェルジュによる相談事業の実施 ・企業や地域事業者と連携した子育て支援事業の実施 食育活動(担当課:農業振興課)こども向けスポーツ教室等イベント(担当課:文化・スポーツ振興室) ・こどもや子育て世代への電子書籍貸出サービスの実施										
対象者	12歳以下のこども					対象者数	7,846		単位あたりコスト	3.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,451		1,699		1,979		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		4,451		1,699		1,979		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	735		240		190		0						
	③ 府支出金	726		206		154		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	2,990		1,253		1,635		0						
決算情報	① 流充用額	1,645		162										
	② 配当予算	6,096		1,861										
	③ 執行額	5,145		1,468										
	④ 執行率	84.4%		78.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.70	/	9.20	0.60	/	8.55	/						
	② 概算人件費	31,360		28,740										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		36,505		30,208										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	子ども・子育て支援交付金		種類	民生費国庫補助金		実績金額	118		決算附属資料	16		頁
			子ども・子育て支援交付金			民生費府補助金			118			23		
			子育て応援まちづくり事業基金繰入(ふるさと納税基金)			基金繰入金			595			40		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人日	1438	4605	4888			
	地域子育て支援拠点(りとするハピネス)の平日利用者数(延べ)	目標値		4000	4000	4000	4000	4000	
			達成度	%	36%	115%	122%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	25	80	77			
	地域子育て支援拠点(りとするハピネス)におけるイベント開催数(延べ)	当初見込		40	40	40	40	40	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
・利用者のニーズにそくしたイベントの開催 ・三段池公園の特徴をいかした拠点運営									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	・敷居の低い身近な相談先として、親子の遊び場において、親子同士の交流を目的とした運営と合わせて専門職や支援制度の案内ができた。 ・各種親子向けイベントの実施により、三段池公園全体が親子向けの施設となるよう魅力を向上させることができた。 ・親子で遊べる場としてだけでなく、保護者のニーズにあわせた行事の開催が必要。 ・三段池公園の魅力の向上だけでなく、市全体として、子育てのまちづくりを進める必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	・地域子育て支援拠点として、親の学習の機会としてニーズにあわせた講座の開催を計画する。 ・社会全体での包括的な子育てへの機運向上にかかる取組みを進める。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業										事業コード	030201430385				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課						所属長	荒賀 正之							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	131		頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯や転入者や共働き世帯の増加などにより、地域内でのつながりが希薄になる中で、子育て家庭が孤立しやすく、仕事と子育ての両立に対する負担感がある。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域とのつながりが希薄化の中で、市民どうしが支え合い子育てをしていく環境づくりが必要。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 保護者が用事や就労のために、一時的に安心して子どもを預けることができる相互援助活動を促進する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・アドバイザーを中心とした事業の円滑な運営 (1)事業周知による会員の募集及び、登録 (2)援助活動の調整 (3)援助活動を実施するにあたり必要な知識の提供(講習会の開催)										
対象者	生後6か月から小学6年生までの子ども					対象者数	7,381		単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	653		817		656		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		653		817		656		0						
予算財源内訳	① 一般財源	219		457		400		0						
	② 国支出金	217		180		128		0						
	③ 府支出金	217		180		128		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 80		0										
	② 配当予算	573		817										
	③ 執行額	448		771										
	④ 執行率	78.2%		94.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.17	/	1.22	0.12	/	1.27			/				
	② 概算人件費	4,776		4,516										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,224		5,287										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	子ども・子育て支援交付金		種類	民生費国庫補助金		実績金額	199		決算附属資料	16		頁
			子ども・子育て支援交付金			民生費府補助金			199			23		
				10										

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	%	98	98.5	99.2			
			目標値		100	100	100	100	100	
	依頼に対応することができた割合		達成度	%	98%	99%	99%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	人	17	21	27			
	新規援助会員数		当初見込		20	20	20	20	20	
	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容① (アクティビティ)		研修会や説明会の開催								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・必要とされる方のニーズに可能な限り応えることができるように調整をすることができた。 ・利用者(依頼会員)にも援助会員になることを勧めたことで、相互援助の実現につながっている。 ・地方新聞を活用しながら説明会を開催したことで、幅広い年代の会員に登録いただけた。 ・SNSの活用により、事業のイメージがしやすく活動や利用へのハードルを下げるすることができた。 ・幼稚園保護者向けに援助会員募集のチラシを配り、保護者同士の相互援助活動が増えた。 ・利用者にも、援助者にもさらに利用や入会のハードルを下げる案内が求められている。	
現状の課題 に対する 改善策	・拠点預かり、送迎など援助しやすい活動方法の周知に力を入れる。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	子育て交流・相談・支援事業										事業コード	030201430386				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課						所属長	荒賀 正之							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	131		頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯や転入者や共働き世帯の増加などにより、地域内でのつながりが希薄になる中で、子育て家庭が孤立しやすく、仕事と子育ての両立に対する負担感がある。一方で妊娠・出産・育児など子育てに関する情報は、WebやSNS上に溢れており容易に収集できる。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 子育て世代がつながるためにも、子育て世代が自然と集うような場所や機会を設ける必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 子育て中の悩みや不安について相談したり、同じ立場の人と共有できるよう、子育て世帯が集う場や機会を設けることで、不安などを解消するとともに、子育て家庭の孤立及び児童虐待の防止を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・子育て支援センターや地域子育て支援ひろばにおける、子育て世代が集い、交流できる場の提供 ・保護者の方の悩みや相談を受けるとともに、必要に応じて適切な支援先や制度を紹介する ・多くの子育て世帯が集うイベントの実施(おひさまひろば)									
対象者	就学前までの子ども				対象者数	3,878		単位あたりコスト	8.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	10,542		11,356		11,294		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		10,542		11,356		11,294		0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	3,051		5,313		6,016		0				
	② 国支出金	4,442		3,721		3,439		0				
	③ 府支出金	3,049		2,322		1,839		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決 算 情 報	① 流充用額	△ 160		△ 28								
	② 配当予算	10,382		11,328								
	③ 執行額	10,044		11,042								
	④ 執行率	96.7%		97.5%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.36	/	7.46	0.32	/	6.65			/		
	② 概算人件費	23,768		21,180								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		33,812		32,222								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	子ども・子育て支援交付金		種類	民生費国庫補助金		3,137		決算附属資料	16	頁
			子ども・子育て支援交付金			民生費府補助金		1,846			23	
				21								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	9125	10913	12439			
	地域子育て支援拠点(りとりるハピネス除く)の利用者数(延べ)	目標値		10000	10000	10000	10000	10000	
		達成度		%	91%	109%	124%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	198	192	192			
	地域子育て支援拠点(りとりるハピネス除く)におけるイベント開催数(延べ)	当初見込		180	180	180	180	180	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・利用者のニーズにそくしたイベントの開催								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	・利用者からの声を他の事業の実施につなげ、多くの子育て親子が参加できる機会を設けることができた。 ・利用者からの相談内容をもとにNPO法人と連携しながら、必要な支援につなげることができた。 ・各施設のそれぞれの魅力の発信とともに保護者のニーズにあわせた講座の開催が必要。								
現状の課題 に対する 改善策									
	・講座の内容を検討し、保護者にとって、施設を利用する上での学びの機会を増やしていく。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	児童公園維持管理事業										事業コード	030203430323				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり							
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322					
事業担当	所属	170300 こども家庭部幼保支援課						所属長	吉田 真紀							
会計情報	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	03 児童福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	135		頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	都市計画法、児童福祉法、福知山市開発行為に関する児童公園設置指導要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 児童福祉法、福知山市開発行為に関する児童公園設置指導要綱等に基づき整備、市への帰属を受けてきている。 地域における児童を対象に児童に健全な遊びや健康の増進、情操を豊かにすることができる児童厚生施設として役割を果たしている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 安心して利用できる児童公園を維持するためには、点検業務は欠かすことができない。 職員による定期的な日常点検と専門業者による点検を行い、安全な環境を維持している。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 子どもたちの成長を育む場の充実に向けて、児童及びその世帯がいつでも安心して遊ぶことのできる拠点としての機能を維持する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 市内の児童遊園の維持管理。 職員(用務員)による定期的な日常点検及び業者委託による遊具の機能点検、安全点検を2年に1回実施。 遊具点検の結果を受け、優先度の高いものから計画的に遊具修繕等を実施。 直接管理地における除草作業、管理する便所の清掃を業者委託で実施。										
対象者	市内在住の中学3年生までの児童生徒					対象者数	9,933		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,887		1,698		1,364		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,887		1,698		1,364		0					
予算財源内訳	① 一般財源	1,788		1,597		1,263		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	99		101		101		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	1,887		1,698									
	③ 執行額	1,641		1,663									
	④ 執行率	87.0%		97.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.18	/	0.00	0.35	/	0.00	/					
	② 概算人件費	1,440		2,800									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,081		4,463									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	電柱占用料(保育園、児童公園)			種類	民生使用料		実績金額	101		決算附属資料	8	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	0	0			
		目標値		0	0	0	0	0	
	重大な事故件数		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	6	3	6			
	業務委託件数	当初見込		10	10	10	10	10	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
利用者への安心安全な公園を提供するために定期的な巡回点検の実施									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	【自己評価】 専門業者による一斉点検や、職員による日常的な巡回点検や維持管理を実施することにより、安全管理に努めている。 【現状の課題】 遊具等による事故は確認されていないが、経年劣化による遊具修繕の必要性が高い箇所が多い状況である旨、遊具点検業者から報告を受けており、優先順位を見極めた修繕対応等を実施していく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	遊具修繕については、年間に実施できる数も限りがあるため、優先順位をつけて複数年かけ計画的に実施していく。 専門業者による遊具点検の結果を受けて、現在、遊具修繕や撤去についての優先順位をつけている。今後、計画的な修繕等に努め遊具の長寿命化を図る。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	放課後児童クラブ運営事業										事業コード	100501430304		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり					
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成								施策コード	322			
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課						所属長	西村 憲二					
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	219・220	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	児童福祉法、福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例、福知山市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年における女性の就業割合の高まりや核家族化の進行と併せ、共働き家庭の増加により、児童と家庭を取巻く環境は変化してきており、放課後や長期休業期間における児童の安心・安全な居場所の確保や次代を担う児童の健全育成など見守り支援を担っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 放課後児童クラブの利用ニーズの高まりにより、放課後児童育成事業の必要性・重要性が注目される中、児童支援員の安定的な職員確保が難しい状況がある。また、異年齢等との関わりなどを通じて社会性を取得し、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる場としていくため、児童支援員の更なる育成や質の向上を図る必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 保護者や同居家族が就労等により昼間見守りができない児童に対し、放課後や学校休業日に安心して遊びや生活ができる場を提供するとともに、健全育成を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 対象者：小学1年生から6年生が対象で利用は事前登録・使用料が必要。 開設日：4月1日から翌年3月31日まで(日曜日及び祝祭日、12月29日から1月3日を除く) 開設時間：平日(月曜日から金曜日)は下校から午後7時まで、土曜日及び振替休日、長期休業期間は午前7時45分から午後7時まで 開設場所：小学校区15か所を実施。直営12か所(俣明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉・遷喬・六人部・成仁・三和・夜久野・大江)、委託1か所(上豊富)、地元運営2か所(上川口・上六人部)									
対象者	放課後児童クラブ登録児童				対象者数	1,577		単位あたりコスト	214.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	235,065		251,511		304,176		0						
	② 補正予算	24,834		55,377		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		259,899		306,888		304,176		0						
予算財源内訳	① 一般財源	46,387		94,501		132,988		0						
	② 国支出金	51,527		51,527		31,444		0						
	③ 府支出金	51,527		51,527		31,444		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	110,458		109,333		108,300		0						
決算情報	① 流充用額	△ 1,711		△ 2,308										
	② 配当予算	258,188		304,580										
	③ 執行額	239,467		299,959										
	④ 執行率	92.7%		98.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.83	/	2.00	3.00	/	5.00	/						
	② 概算人件費	28,240		38,000										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		267,707		337,959										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	放課後児童クラブ使用料(現年度・過年度)		種類	教育使用料		実績金額	56,937		決算附属資料	10		頁
			放課後児童クラブ運営事業(子ども・子育て支援交付金)			教育費国庫補助金			47,096			19		
			放課後児童クラブ運営事業(子ども・子育て支援交付金)			教育費府補助金			40,162			27		
			放課後児童クラブ運営事業基金繰入			基金繰入金			53,520			39		
			電柱使用料			教育使用料			3			10		
			大正放課後児童クラブ一部使用料電気代			雑入			35			43		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	94	93	93			
	保護者アンケートによるプラス評価		目標値		90	90	90	90	90	
			達成度	%	104%	103%	103%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	箇所	26	26	27			
	児童クラブ開設支援の単位(教室)数		当初見込		26	27	27	27	27	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	児童が安心・安全な生活の居場所、今後の見守り等に役立てるため、常時利用の保護者を対象にlogoフォームを活用し保護者アンケート調査を実施(令和7年1月)した。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	【自己評価】 保護者にとって、就労時等に子どもを安心して預けられることは重要であり、その受け皿となる放課後児童クラブでの生活や遊びの場の提供に対しての期待は非常に大きいものがある。 【現状の課題】 ・放課後児童クラブの利用ニーズの高まりにより、放課後児童育成事業の必要性・重要性が注目される中、指導員の安定的な職員確保が難しい状況である。 ・異年齢児等との関わりなどを通じて社会性を取得し、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる場としていくため、指導員の確保と共に、更なる指導員の育成や質の向上を図る必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	安定的な放課後児童育成事業の提供に資するため、国による保育士等処遇改善臨時特別交付金等の活用により職員の処遇改善等を進めていく必要がある。また、放課後児童支援員認定研修を受講した有資格指導員を増やすことにより、更に安定した放課後児童育成事業の運営に取り組んでいく必要がある。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	放課後児童クラブ整備事業										事業コード	100501430399		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり						
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322				
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課					所属長	西村 憲二						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	220	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童福祉法、福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年における女性の就業割合の高まりや核家族化の進行と併せ、共働き家庭の増加により、児童と家庭を取巻く環境は変化してきており、放課後や長期休業期間における児童が安心して安全に生活できる居室環境の整備を担っている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 既存施設の老朽化、入部申込児童数の増加が年々顕著な状況になってきており、安心・安全な環境の維持が急務になってきている。今後の利用ニーズの把握など、計画的な施設整備や修繕を進めていく必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 児童の安心・安全な見守りの場を保障するために、必要な改修及び整備を行う。 共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの利用者が低学年を中心に年々増加しており、保護者が安心して就労でき、放課後児童クラブを利用する児童が安全に過ごせるよう整備を行い、居室環境の向上を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 放課後児童クラブは、専用クラブ棟以外に旧幼稚園施設や小学校の空き教室等を利用して運営を行っているが、老朽化や利用者の増加等により児童が長時間過ごすには環境の改善が必要な施設がある。 【令和6年度実施工事等】 遷喬放課後児童クラブ棟新築工事(令和5年度からの繰越工事)、大正放課後児童クラブ棟新築工事、大正放課後児童クラブ(旧幼稚園施設)の解体に伴う設計委託業務、俣明放課後児童クラブ施設整備に伴う設計委託業務(令和7年度に繰越)										
対象者	放課後児童クラブ登録児童					対象者数	1,577		単位あたりコスト	122.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	111,280		151,715		0		0						
	② 補正予算	△ 1,600		0		0		0						
	③ 繰越予算	△ 60,778		52,778		0		0						
	前年度繰越	0		60,778		0								
	次年度繰越	△ 60,778		△ 8,000		0								
小計(①～③)		48,902		204,493		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	230		1,872		0		0						
	② 国支出金	32,798		90,417		0		0						
	③ 府支出金	10,074		22,604		0		0						
	④ 地方債	5,800		89,600		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,125										
	② 配当予算	48,902		203,368										
	③ 執行額	48,775		191,561										
	④ 執行率	99.7%		94.2%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.20	/	0.00	0.19	/	0.00			/				
	② 概算人件費	1,600		1,520										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		50,375		193,081										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	放課後児童クラブ整備事業(子ども・子育て支援施設整備交付金)		種類	教育費国庫補助金		実績金額	114,693		決算附属資料	19		頁
			放課後児童クラブ整備事業(子ども・子育て支援施設整備交付金)			教育費府補助金			15,408			28		
			放課後児童クラブ(社会福祉施設整備)			教育債			41,200			55		
			放課後児童クラブ(行政改革推進)			教育債			5,800			55		
			放課後児童クラブ運営事業基金繰入			基金繰入金			53,520			39		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	123.8	138.2	148.8			
		目標値		100	100	100	100	100	
	児童クラブ利用率(4月1日時点)		達成度	%	124%	138%	149%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1040	1040	1040			
	児童クラブの利用定員	当初見込		1040	1080	1120	1120	1120	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童クラブの利用ニーズについて、実態把握を図りながら、より安心で安全な生活の場が提供できる施設整備を計画的に取組みを進めている。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	【自己評価】 保護者にとって、就労時等に子どもを安心して預けられる環境、放課後等の居場所などの提供に対しての期待は非常に大きいものがある。 【現状の課題】 施設の老朽化、預け入れ人数の増加が年々顕著な状況になってきており、安心・安全な環境の維持が急務になってきている。ニーズの把握や優先順位を定めて、必要に応じた対応、施設修繕・整備を進めていく必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	児童クラブの利用ニーズについて、正確な実態把握を行うとともに、より安心で安全な生活の場が提供できる施設整備を計画的に取組みを進めていく必要がある。								

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	こだま教育推進事業							事業コード	100501610114		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成						施策コード	322		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課					所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	221	頁
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 全国で頻発する「いじめ問題」の解決に向けて、平成7年に「いじめ対策緊急市民会議」を設置していじめ根絶の取組の具体化を図ってきた。平成10年には家庭・学校・地域社会が連携して子どもに豊かな体験活動を提供する「心の教育」実践活動に発展改組し、「教育のまちづくり市民会議」の提言を受けて平成23年より「家族だんらんの日」事業の推進に取り組んでいる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ いじめ問題、地域のつながりの希薄化など現代的な社会問題や課題を把握し、その解決に向け家庭・学校・地域が連携して取り組む。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の社会教育の重点に基づき、市民全体の人間力の向上、特に次代を担う青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域社会の連携を大切にして、市民総がり・社会総ぐるみで活動を展開する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○揭示教育の推進：各自治会単位でこども教育推進員を委嘱し、市内333箇所です月2回揭示文を板書している。 ○啓発紙の発行：「家族だんらんの日」手紙・作文集を市内全戸配布 ○「心の教育」実践活動：教育行政、公民館、学校、関係団体による「心の教育」実践活動中央本部を設置し、各構成員が次代を担う青少年を健全に育成する必要性を認識するとともに、市民全体の共通認識となるよう「心の教育」実践活動の推進を図る。(各地域公民館ブロック市内計10ブロックに「心の教育」実践活動事業交付金を交付)					
対象者	市民		対象者数	74,275	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	各ブロック「心の教育」実践活動実行委員会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	1,175	掲示板、賞状額、「家族だんらんの日」手紙、作品集			
	役務費	101	郵送料			
	負担金補助及び交付金	940	「心の教育」実践活動事業交付金10館			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,817		1,916		1,078		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,817		1,916		1,078		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	1,817		1,916		1,078		0						
決算情報	① 流充用額	301		299										
	② 配当予算	2,118		2,215										
	③ 執行額	2,118		2,215										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.13	/	0.40	0.14	/	0.53	/						
	② 概算人件費	2,160		2,604										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,278		4,819										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	こだま教育推進事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)		種類	基金繰入金		実績金額	1,976		決算附属資料	35		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	337	335	333				
	揭示箇所数	当初見込		337	335	333	333	333		
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	こだま教育推進員に年3回揭示文を発送し、月2回揭示文を板書していただいている。板書に使用する掲示板やチョークについては、希望があった場合は新しいものをお渡しさせていただいている。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	22105	21557	17384				
	「心の教育」実践活動の参加人数(あいさつ運動は除く)	目標値		20000	20000	20000	20000	20000		
		達成度	%	111%	108%	87%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	ブロック	10	10	10				
	「心の教育」実践活動実施ブロック数	当初見込		10	10	10	10	10		
	活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
各地域公民館計10ブロックに「心の教育」実践活動交付金を交付し、各地域の特性をいかした「心の教育」実践活動を推進する。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	○家庭・学校・地域社会が連携し、「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」、「揭示教育活動」、「青少年学校外活動」など様々な活動を多くの地域で実施し、活動参加者も多くの方が関わっていることから、これらの活動が各地域で定着し、それぞれの地域実態にあった取組が進められていることは評価できる。 ○揭示教育は地域づくり、環境、人権等の啓発文を全市333箇所で開催するもので、市民に教育のまちづくりに向けて、地域一丸での見守りの醸成を進めることができています。 ○揭示教育を行う事で、地域の方々の励ましの言葉や声掛け等、心温める地域交流が行われ、地域コミュニケーションのきっかけとなっている。 ○こだま教育揭示事業に関しては、高齢化に伴う揭示教育推進員の確保が課題である。長年お世話になっている推進員には、教育委員会から感謝状の贈呈や青少年健全育成活動推進者表彰の推薦を行い、日頃の活動に感謝し事業の広報に努めているが、揭示50周年を前に揭示教育の手法について見直しが必要な時期にきている。	
現状の課題に対する改善策	○今後も継続して、少年を取り巻く現状を把握し、課題解決に向け、各関係機関と連携を図る。 ○「家族だんらんの日」推進企業・団体の登録数をさらに増やすため、今後も電子申請システムを活用しつつ、効果的な周知を行いたい。	

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人		382	401	488			
研修会・大会等参加者数(延べ)		目標値		700	700	700	500	500		
		達成度		%	55%	57%	70%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回		13	12	13			
事業開催数		当初見込		15	15	15	15	15		
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 本部役員会、代表者会議については、各校PTA正副会長に案内を送付し開催した。研修会及び研究大会については、各校1～2名程度の参加依頼をし、各校より希望者が参加した。いずれも事前に予告し、十分に周知したうえで依頼した。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	○コロナ禍以前に行っていた市PTA連絡協議会の年間事業を効果的な実施と負担軽減の視点で見直した。 ○OPTAの是非に対する意見も一部あり、子どもたちのためのPTAへの理解を求めるための啓発を今後も進めていく必要がある。 ○令和7年は京都府PTA研究大会が本市で開催されるため、各校PTAの連携を一層深め、総力で研究大会をやりきる。								
現状の課題 に対する 改善策	○少子化によるPTA活動の担い手確保が厳しくなる一方で、子育て支援への必要性は増す中、本市においても、子どもにとって価値あるPTA活動の視点から取組内容を見直してきた。今後も市PTA事業計画をより精選し、子育てや指導者の研修会、意見交流活動を大切にしていく。 ○参加しやすく、楽しいPTA活動を目指していくため、これまでの事業にとらわれずスリム化し、効率的に事業を行い、負担軽減につなげてきた。さらに、会員相互の親睦や地域の方々との交流を進めるなど、より一層親自身が包み込まれるような取組にしていく必要がある。 ○成果実績の目標値について、児童・生徒数の減少によりPTA会員数の減少や働き方改革により500に変更する。								